

AlmaLinux ALS サービス SLA

文書番号:ML-CS-3260

本書は、サイバートラスト株式会社（以下、当社）が提供する AlmaLinux オペレーティングシステムソフトウェア（以下 AlmaLinux OS と表記）向けのサービスの内容について説明するものである。

1. AlmaLinux ALS (Advanced Longterm Support) サービスの概要

本サービスでは、2 で定めるシステムを対象に、3.2 で定める条件ならびに 5 に定める制限事項の下、3.1 で定める以下のサービスを、4 で定める期間提供する。

- AlmaLinux ALS リポジトリ使用权
AlmaLinux OS を導入した商用システムの長期サポートを目的として本サービスで提供するアップデートパッケージの配布を目的としたサーバー（以下、AlmaLinux ALS リポジトリと表記）、ならびに当該サーバーから提供されるアップデートパッケージの使用权を提供する。

2. サービス対象

2.1 システム要件

本サービスに関わるシステム要件は、以下のとおり。

- 1) 以下の対象 OS を導入したシステムを対象とする。
 - AlmaLinux OS 9.6
- 2) 上記の OS の動作環境は、サーバー用途として販売されているハードウェアに限る。
- 3) 物理サーバーおよび仮想サーバーの環境においては、上記の OS が提供する標準のインストーラーを用いて導入した場合に限る。
- 4) クラウドサービス上（VPS を含む）の環境においては、The AlmaLinux OS Foundation が公式に提供している AlmaLinux OS のイメージを用いた場合に限る。
- 5) CPU アーキテクチャが x86_64 の環境に限る。
- 6) セキュアブートが無効の環境に限る。

2.2 サービス対象システムの認証

本サービスが対象とするシステム、または対象システムがインターネットに接続されていないなどの理由により代理でアップデートパッケージのダウンロードを実施する端末には、当社が提供する AlmaLinux ALS リポジトリの使用权を認証するためのツールを導入のうえ、当該ツールの機能を用いてインターネット経由で使用权の認証を受けるものとする。

3. AlmaLinux ALS リポジトリ使用权

3.1 サービス内容

本サービスの内容を〔表 1〕に記す。

【表 1 AlmaLinux ALS リポジトリ使用权のサービス内容】

含まれるサービス	説明
ライセンス認証ツールの提供	AlmaLinux ALS リポジトリの使用权を認証するためのツールを提供する。
AlmaLinux OS 特定マイナーバージョン向けアップデートパッケージの提供 ※1 ※2	【2.1 システム要件】に定義した AlmaLinux OS のマイナーバージョン向けのアップデートパッケージを提供する。
AlmaLinux ALS リポジトリサーバーの使用权	AlmaLinux ALS リポジトリを提供するサーバーへのアクセス権限を提供する。

【注意事項】

- ※1 アップデートパッケージは「5. 制限事項」の記載事項による条件下で提供する。
- ※2 対象マイナーバージョンの AlmaLinux OS に対して The AlmaLinux OS Foundation による新たなアップデートパッケージの提供が継続している期間中は、基本的にそれらのアップデートパッケージを提供する。

3.2 サービス提供条件

本サービスの提供条件を〔表 2〕に記す。

【表 2 AlmaLinux ALS リポジトリ使用权のサービス提供条件】

入手方法	・当社が指定する Web サイトからのダウンロード ・dnf コマンド / yum コマンドの利用
有効期間	【5. サービスの提供期間】で規定するサービス終了時期までのうち契約期間内 ※1
サービス対象システム	【2. サービス対象】の規定に準拠するシステム
利用可能時間	制限なし（当社の指定日を除く）※2

【注意事項】

- ※1 本サービスで提供したアップデートパッケージは、契約有効期間内のみ取得することができる。ただし、契約有効期間内に取得したアップデートパッケージに限り、契約終了後も引き続き利用を継続することができる。
- ※2 AlmaLinux ALS リポジトリサーバーのメンテナンス等、当社の都合により一時的に利用を制限することがある。
なお、原則として当社 Web ページ等により事前に連絡するものとするが、緊急を要する場合にはこの限りでないことがある。

4. サービスの提供期間

本サービスの終了時期について、[表 3] に記す。

【表 3 本サービスで提供するサービス項目とサービス終了時期】

サービス項目	内 容	サービス終了時期
AlmaLinux ALS リポジトリ使用权	・ライセンス認証ツールの提供 ・AlmaLinux OS 特定マイナーバージョン 向けアップデートパッケージの提供 ・AlmaLinux ALS リポジトリサーバーの 使用权	2035 年 05 月 31 日

5. 制限事項

本サービス提供にあたっての制限事項は、以下のとおり。

- 本サービスでは以下に示すパッケージについて The AlmaLinux OS Foundation によるアップデートパッケージの提供終了後もアップデートパッケージを提供する。また、これらのパッケージを「サポート対象パッケージ」と呼称する。
 - 【サポート対象パッケージ】
acpid, apr, apr-util, attr, authselect, bash, bind, binutils, bzip2, elfutils, expat, file, filesystem, gcc, glib2, glibc, gnupg2, gnutls, grep, groff, grub2, gzip, hostname, httpd, iproute, json-c, kbd, kernel, keyutils, kmod, krb5, less, libcap, libcap-ng, libgcrypt, libkcapi, libksba, libpciaccess, libpwquality, libselinux, libsemanage, libsepol, libssh, libtasnl, libunistring, libuser, libutempter, libverto, libxml2, libyaml, linux-firmware, logrotate, lvm2, lz4, make, microcode_ctl, nettle, net-tools, nfs-utils, nss, openldap, openssh, openssl, pam, passwd, pciutils, perl, pinentry, policycoreutils, polkit, postfix, procps-ng, python3.9, rpm, rsync, rsyslog, sed, selinux-policy, setserial, setup, shadow-utils, sqlite, sudo, sysstat, systemd, tar, texinfo, tzdata, util-linux, wget, xz, zip, zlib
- アップデートパッケージの作成有無や提供する場合のタイミング、修正対象とする脆弱性の内容は、当社の判断で決定する。
- アップデートパッケージは、基本的にネットワークから無条件に攻撃が可能で、かつ攻撃を受けた場合、特権を獲得される、もしくは情報が漏洩するなどの影響が大きく、修正が可能と当社で判断した場合に作成する。
 - 新たに発見された脆弱性に対するアップデートパッケージの作成有無を判断する際の詳細な条件や判断の過程は、開示しない。
- 発見された脆弱性の内容やその社会的な影響等によっては、当社の判断で「サポート対象パッケージ」以外のパッケージについてもアップデートパッケージを提供することがある。
 - ただし、これらのパッケージについてはその後継続的にアップデートパッケージを提供することを保証するものではない。
- 本サービスで提供するアップデートパッケージは脆弱性への修正のみを目的としており、各パッケージのコミュニティが公開した新機能への対応は実施しない。
 - ただし、当社の判断により例外的に一部の不具合事象に対する修正をリリースする場合がある。
- ミラーリポジトリサーバーなど、本サービスで提供するアップデートパッケージの再配布を目的としたサーバーの構築はできない。

－ 以上 －

本書の記載内容は予告なく変更することがある。
※本書の情報は 2025 年 6 月時点のものである。

AlmaLinux® は、The AlmaLinux OS Foundation の米国およびその他の国における、登録商標または商標である。
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標である。
その他会社名およびロゴ、製品名、ソフトウェア名などは該当する会社の登録商標または商標である。

Copyright © 2025- Cybertrust Japan Co., Ltd. All rights reserved.